

## 平成 24 年度岡山大学入学式及び大学院入学式 式辞

本日、ここにご来賓ならびにご家族のご臨席をいただき、学部学生 2,435 名、大学院学生 1,068 名、総計 3,503 名の新入生の皆さんが一同に集まり、平成 24 年度岡山大学入学式を行いますことは、本学にとりまして、大変喜ばしいこととであります。

皆さんはこの岡山大学を学ぶ場として選び、努力の末に、大きな難関を乗り越えて今日の日を迎えられました。岡山大学を代表しまして、心からのお祝いと、歓迎の意をお伝えしたいと思います。

岡山大学の理念は「高度な知の創成と的確な知の継承」であります。私たちは、公的な知の府として、知の創成、知の継承、つまり研究・教育活動とその社会還元を通して人類社会の発展に寄与する使命を持っております。岡山大学は 11 学部、7 大学院研究科を備え、今日、皆さんを迎えて、約 14,000 人、留学生約 500 人、さらに 2,600 人の教職員を加え、2 万人を超えた人々が、知的創造にとり組む、日本屈指の総合大学であります。

皆さんは、今日、岡山大学を選び、この場に身を置いたからには、高い使命感を持って、それぞれの学問、知の創造に参画し、少しでも人類社会の発展、平和に貢献する気構えを持っていただきたいと思います。それが入学を果たされた皆さんの目的であり使命であります。

一年前の 2011 年 3 月 11 日、東北・太平洋沖の大地震とそれに伴う大津波。死者・行方不明者は約 2 万人、破壊された家屋は数十万戸、被災者は数百万人、壊滅的打撃を受けた原子力発電所は未だに解決の道筋さえ明確にならない現状。まさに数百年に一度というべき天災に遭遇し、日本は社会そのものの存続さえ未だ、危ぶまれる状況に追い込まれました。

一年を経過した今も、私たちは心をつなげて、被災者の生活再建と被災地の復興を支援すると同時に、この大惨事を一つの契機として新たな国のかたちというものを作り上げていく覚悟を固める必要があります。

私たち人類社会は、有史以来、たゆまぬ知的創造を重ね、それを継承し、その努力により多くの問題を解決してきました。しかし、21 世紀の現代に至っても、大自然の大きな力の前では、人はまだまだ力不足であったという事であり、人類社会を安定的、持続的に進展させるためには、常に新たな知識基盤

を構築していかなければなりません。この危機を解決できるのは高い「知の創造」以外にありません。それが今日、入学を果たされた皆さんの責務であります。

今回の大震災と原発の事故に際しては、「想像を超えた」という言葉が多く聞かれました。「想像を超えた」とは、我々の科学・学問が未だ完成されておらず、政治・行政が本来果たすべき役割の不備を表わしております。そして知を創造し社会に提供すべき私たち大学人の果たすべき役目を、あらためて噛み締める必要があります。

皆さんも理解されていますように、今、日本は政治的にも経済的にも社会的にも大きな転換期であり、従来の常識はもはや通用せず、根底から変革を成し遂げなくてはならない時にきております。とくに次世代の日本を担うべく皆さんが社会から求められている事は、グローバル化した社会に対応できる、世界に通用する人材となることであります。世界に通用する人材とは、単に英語がしゃべれるということではありません。それぞれが目指している深い専門知識の獲得と同時に、人としての魅力を創成する深い教養を身につけなくてはなりません。皆さんに与えられた時間はそれほど長くはありません。入学するまでのご苦労は重々承知しておりますが、深い教養を身につける第一歩を今日から始めなくてはなりません。皆さんに課せられた、岡山大学のこれからの学生生活は、決して甘いものではありません。厳しい知の世界、学問の世界が待っていると覚悟をしてください。それだけ社会は皆さんに期待しております。

今、岡山大学では大きなヴィジョンを掲げ、大学自身も大きく変革をしている真ただ中であります。真に国際的な研究・教育拠点としての「美しい学都」をめざし、「世界中から人が集まる、日本を代表する独自の総合大学」「市民に開かれた美しいキャンパス」「地域の人々と連携し、世界の人々と連帯する」という目標を掲げ、岡山の地にあって、世界に冠たる、誇りある大学を作り上げたいと思っております。

幸い、岡山大学は第六高等学校、岡山医科大学など全国でも有数の伝統を背おいながら、広大なキャンパスを市街地に有した屈指の大学であります。

そして岡山という地域は地勢的にも大きな利を持ち、風光明媚、好天に恵まれた、安全・安心の地であることは、それ自体が宝のような自然の贈り物であります。私たちの大学がそうした地域の中心に在るということに改めて思い、皆さんと私たちが、その「美しい学都」の担い手としての自覚と責務をもって、その創成に参加していただきたいと思っております。

さらに、岡山大学は共に生きる、「共生」を理念に掲げています。皆さんは大学生活を通じて多くの仲間を作ってください。そのためにはまず自分自身が魅

力ある人間にならなくてはなりません。魅力ある人間とは、人を引きつける人間とは何かを是非考えていただきたいと思います。大学時代に得た友人は一生の宝となります。

アメリカ合衆国、第35代大統領ジョンF. ケネディーは数々の名演説を残しましたが、中でも1961年1月20日の就任演説はあまりに有名です。

“My fellow / Ask not/ what your country can do for You/-Ask what you can do for your country.”

国や社会、あなたをとりまく環境が、あなたに何かをしてくれるのかと問いかける前に、あなた自身が、社会や家族に対して何ができるのかを考えてほしい、と訴えました。

私は、この一節が大好きで、常に自分に言い聞かせ、私の教訓にしてきました。

魅力ある人間とは、自分の「生かされている」環境、自分の置かれた環境は自分で作り上げ、他人のせいにはせず、人の悪口は言わず、人のために努力する人間であると思います。このことが人の輪を広くし、深くします。

私を含め、すべての岡山大学教職員は、今日ここに、新たに仲間に加わった新入生の皆さんとともに、この岡山大学を限りなく美しい大学、岡山の地にあって世界に輝き、魅力にあふれた総合大学に作り上げる決意であります。

私は岡山大学の卒業生であり、岡山大学で学んだことをこの上なく誇りに思っています。今日ここに、その誇りを共有するべく集まった皆さんに、こころから期待をこめてエールを送り、お祝いの言葉としたいと思います。

おめでとうございます。

平成24年4月8日

国立大学法人岡山大学長 森田 潔